



株式会社中央技術コンサルタンツ 取締役 本社コンサルタント事業部長 東日本支社長 山下克己様にお話を伺いました。

中央技術コンサルタンツについて：

当社は、昭和 40 年の創業以来、海岸や港、橋梁や道路やトンネルといった多様な現場の設計や点検業務の実績があります。直近では、新規だけではなく維持管理や保全業務が増えており、環境の変化に柔軟に対応しながら業務の幅を広げています。

手書きから CAD へ、人手から自動化へ：

業務内容は多岐にわたりますが、設計やコンサルティングがメインになります。我々の業務も当然効率化が必須ですので、既存のワークフローの自動化には非常に興味があります。ドローン関連の技術は、積極的に発注者に提案し、業務化しています。

エアロセンスとの出会い：

3次元計測やドローンは興味があった分野なので、もともと名前は知っていましたが、JR 品川駅での AEROBO 測量 2.0 の展示を拝見し、ベンチャーながら急速に成長されており、実績もあるので、現場での導入を決めました。当社案件の AEROBO 測量使用で意義深い点は、Geotiff オルソから 2次元の図面を起こしたこと（測量から設計へ）にあります。木の陰の点群が曖昧等、課題が多く出ましたが、真摯に受け止め、改善を進めてくれることと思います。

技術への期待：

ドローンや GNSS 測量について、高さをどこまで正確に計測できるかがキーになると思います。また構造物の長寿命化をするための技術も急務です。「現況を正確におさえ、計画との差異を把握し、設計をしていく」という我々の技術やノウハウと、エアロセンスさんの最先端の画像解析や AI 技術を使って、新たなビジネス領域と現場に有用なソリューションを展開すべく、これからもご一緒できればと思います。



取締役 本社 コンサルタント事業部長
東日本支社長 山下克己様